

正月にお世話になったウラジロの秘密を探ろうと米子市児童文化センターに出かけた。

電子顕微鏡で葉の裏を千倍に拡大すると、呼吸に大きな役割を果たしている気孔が見えてきた。ポッチャリとした唇のようである。さらに2千倍に拡大していくと、



ウラジロの秘密

くど、気孔のまわりにある

細胞に小さな毛がびっしり「変わらぬ人の心」裏の白ついていた。ウラジロの白は「共白髪」を表す、といは手触りはツルツル、しかう言い伝えがある。しかし、し毛の集まりなのである。ウラジロにとっては自分のここに一滴水を落とす大切な器官を守るための白と、水を弾き小さな玉になった。この毛が撥水効果をもたらしっているようである。電顕観察してみると、いろいろな疑問が解けてくる。と同時に新たな疑問が湧き出る。

ウラジロの表の緑色は出てくる。(とかみん)